

一級自動車工学科・自動車整備科			2023年度 授業計画			
時期	2年通期	単元	学科	教科名	工学計算確認試験	
科目	自動車工学	教科書等 持参品	筆記用具		発行日	2023年4月1日
総時限	03時限		電卓			教科担当
			工学計算テキスト			
<b>1. 実務経験のある教員による授業科目</b> <span style="float: right;">該当</span>						
自動車販売会社で整備士として保安基準の良否判断における点検整備の実務経験のある教員により、国家2級自動車整備士資格取得に向けた自動車工学計算問題について指導する。						
<b>2. 教科の目的</b> (この学科の狙い、目的を明確に記入)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験に出題される計算力の向上</li> <li>・自動車に関する計算問題を解きながら理屈を理解する 計算が苦手な学生のフォローを行う。</li> </ul>						
<b>3. 授業の到達目標</b> (何を理解し何が出来るようになるのか)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家2級自動車整備士範囲の計算問題を理屈を理解し解答を導ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 電気の計算（オームの法則を使用、電力量なども含む）が出来る</li> <li>② 線膨張の計算が出来る</li> <li>③ バルブ機構、車両の重心位置など釣り合いに関わる計算が出来る</li> <li>④ 動力伝達にかかわる計算が出来る（タイヤの回転数、車速、駆動力、駆動トルクなど）</li> <li>⑤ 速度の計算が出来る（加速度、ピストン平均スピード、平均速度、など）</li> <li>⑥ トラックやレッカー車の軸重計算が出来る</li> <li>⑦ トランジスタ回路を使用した電流増幅回路の計算が出来る</li> <li>⑧ プラネタリグや、トルクコンバータに関わる計算ができる</li> <li>⑨ 仕事率について関わる計算が出来る</li> </ul> </li> </ul>						
<b>4. 学習評価</b> (期末試験での主な試験項目)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科授業出欠率による評価 整備科、工学科ともに、出席率100%で履修となる 授業欠席した場合は後日補講を実施する。</li> </ul>						
<b>5. 準備学習</b>						
工学授業で実施した配布プリントなどの復習をしておくこと（1年次含む）						

※ ■ ⇒ 日産資格保持者

※ ● ⇒ 実務経験がある教員

